

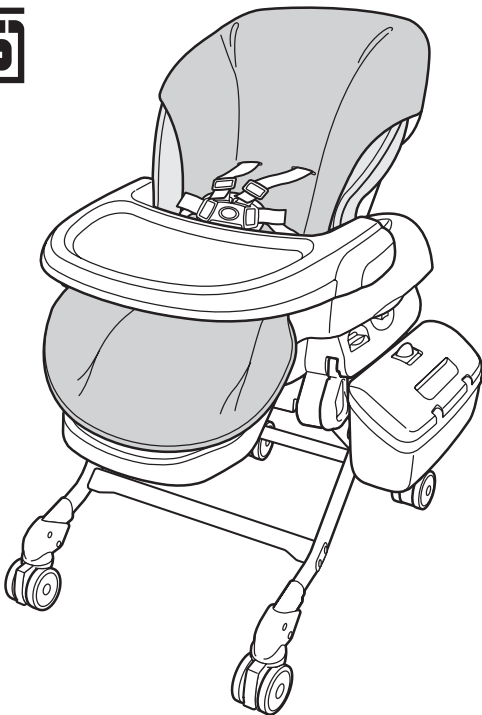
Combi

コンビ ハイ&ロースウィングラック フェアレット AUTO SWING ラグジュア フェアレット AUTO SWING EX フェアレット AUTO SWING リシェナ 共通取扱説明書

品質保証書付

本製品は一般家庭用として開発されたものです。業務用として使用した際の故障などについては、修理サービスが行えない場合があります。
ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

- 本書は大切に保管してください。
- 取りはずしてある部品は、本書をよく読んで正しく取り付けてください。
- 本製品を他のお客様にお譲りになるときは、必ず本書もあわせてお渡しください。



もくじ

はじめに

ご使用前に	1
使いかたの目安	2
安全にご使用いただくために	3
各部のなまえ	7

使いかた

高さ調節のしかた	8
キャスターの使いかた	9
シートベルト（腰ベルト・股ベルト・肩ベルト） の使いかた	10
テーブルの取り付けかた	13
収納ボックスの取り付けかた	13
リクライニングの使いかた	14
スウィングの使いかた	15
メロディの使いかた	20
収納レバーの使いかた	21
インナークッションの使いかた	22

その他

シートクッション、ベースシート、シートベルトの はずしかた・取り付けかた	23
スウィングラック Q&A	28
日常のお手入れのしかた	28
故障かなと思う前に	29
製品仕様	29
保管のしかた	30
点検とアフターサービスについて	30
廃棄方法について	30
品質保証書	裏表紙

ご使用前に

本製品は、室内におけるお子さま用の簡易ベッドや、いすとして使用されることを目的としています。

望ましい連続使用時間

簡易ベッドとして 60 分間 / スウィング 15 分間 ※ 1 日の合計使用時間 : 3 ~ 4 時間

使用できるお子さまの年齢

新生児 ~ 48 ヶ月まで (お子さまの衣服などを含めた荷重制限は 18kg)

簡易ベッドとして使用するときは

新生児 ~ 5・6 ヶ月ころまで (お子さまの衣服などを含めた荷重制限は 2.5kg ~ 8kg、身長 70cm まで)
※スウィングをするときも同じです。

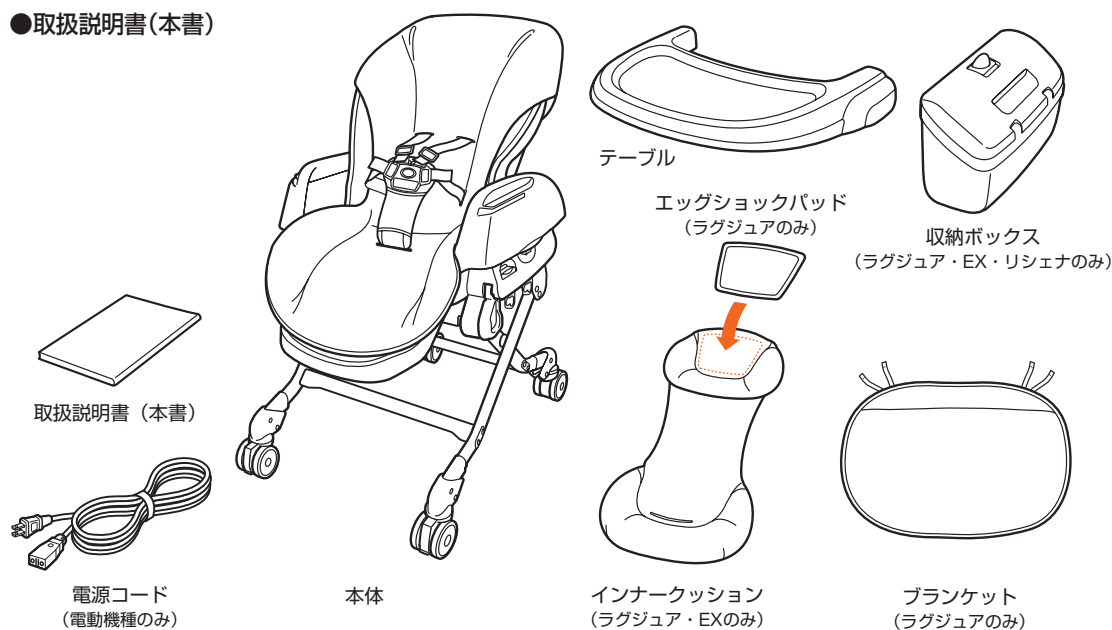
いすとして使用するときは

腰がすわってから (おすわりができるようになってから) 48 ヶ月まで
(お子さまの衣服などを含めた荷重制限は 18kg)

開封されましたら、各部品がそろっているかご確認ください。

箱の中には次のものが入っています。箱を開けたらすべてそろっていることを確認してください。

- 本体 (シートクッション・ベースシート付)
- テーブル
- 収納ボックス (ラグジュア・EX・リシェナのみ)
- インナークッション (ラグジュア・EX のみ)
- ブランケット (ラグジュアのみ)
- エッグショックパッド (ラグジュアのみ)
- 電源コード (電動機種のみ)
- 取扱説明書 (本書)



● 組み立てる前に、裏表紙の「品質保証書」に次の項目を記入してください。

- ① シリアル No. (本体背面にあります。7 ページ下のイラストをご覧ください)
- ② お客様のお名前・ご住所・電話番号
- ③ 販売店名

使いかたの目安

本製品は、簡易ベッドや、いすとしてご使用いただけます。お子さまの月齢にあわせ下記の使用条件をお守りください。

●**新生児とは**…この取扱説明書では、体重 2.5kg 以上で在胎週数 37 週以上のお子さまとしています。

月齢の目安	新生児～2・3カ月	2・3カ月～5・6カ月	5・6カ月～18カ月	18カ月～48カ月
発育状態の目安	首がすわるまで	腰がすわるまで	腰がすわったころ	ひとりでおすわりができたあと
使用方法	簡易ベッドのみ	簡易ベッド いす	いすのみ	いすのみ
スウィング使用可否	○	○	×	×
リクライニング角度の使用範囲	①	①②	③	③④⑤
シート	必ず使用	必ず使用	必ず使用	—
ベルト	必ず使用	必ず使用	必ず使用	必ず使用

インナークッションの使いかたの目安

インナークッションは、お子さまを快適な姿勢に保つための姿勢保持クッションです。お子さまの月齢にあわせ、下記の使用条件をお守りください。(詳しくは、22 ページをご覧ください)

月齢の目安	新生児 ～2・3カ月	2・3カ月 ～5・6カ月	5・6カ月 ～10・11カ月	10・11カ月 ～48カ月
発育状態の目安	首がすわるまで	腰がすわるまで	腰がすわったころ	ひとりでおすわりができたあと
インナークッションの使いかた	<p>頭部 / 本体を組みあわせて使用します。頭部の凸部が、お子さまの首の後ろになるように調節し使用します。</p>	<p>本体のみ使用します。クッションの形を整え、ベルトの位置にあわせて取り付けてください。</p>	インナークッションは使用しません。	


安全にご使用いただくために

- 製品を使用する上でご理解いただきたい警告および注意事項を記載しています。製品を正しく安全にお使いいただき、危害や損害を未然に防止するためのものです。ここに記載した内容を無視した場合、お子さまおよび保護者のかたが重大な損害を被るおそれがあります。よくお読みの上、製品をご使用ください。
- ここに表示した注意事項は、取り扱いを誤ると、保護者およびお子さまへの危害が発生したり、物的損害の発生が予想される事項を危害・損害の大きさ、切迫度により「警告」・「注意」の2つに区分して示してあります。安全のため必ずお守りください。

表示	表示の内容
⚠警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の可能性があります。

- お守りいただく内容の種類を次の表示で区分し説明しています。

⚠	警告 / 注意を促す内容があることを告げるものです。
✗	禁止行為であることを告げるものです。

	補足説明
---	------

⚠警告 取り扱いを誤ると重大な事故につながるおそれがあります。

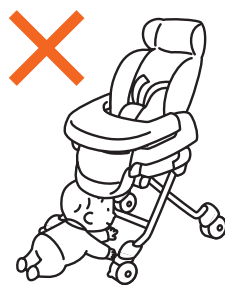
- 使用できるお子さまの年齢：新生児～48ヵ月まで（お子さまの衣服などを含めた荷重制限は18kg）
 - ・簡易ベッドとして使用するときは（2ページのリクライニング位置①②）
 - ：新生児～5・6ヵ月ころまで（お子さまの衣服などを含めた荷重制限は2.5kg～8kg、身長70cmまで）
 - ※スウィングをするときも同じです。
 - ・いすとしてのみ使用するときは（2ページのリクライニング位置③④⑤）
 - ：腰がすわってから（おすわりができるようになってから）48ヵ月まで（お子さまの衣服などを含めた荷重制限は18kg）
- 必ず股ベルト、腰ベルトを使用してください。また、18ヵ月未満のお子さまには必ず肩ベルトも使用してください。簡易ベッドとして使用するときは（新生児～5・6ヵ月）必ず肩ベルトを使用してください。※スウィングを使用される場合も同じです。

思わぬ事故をまねくおそれがあります。

- 必ず保護者の目の届くところで正しく使用ください。また、絶対にお子さまを1人で放置しないでください。
- お子さまは思わぬ動作をしますので、シートベルトを締めていても立ち上がるおそれがあります。目はなさず十分注意してください。



- ラックの周りにお子さまがラックの下にもぐり込んだり、ラックの操作をしないよう注意してください。



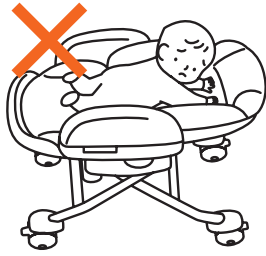
- ラックに腰かけたり、大人が荷重をかけないでください。



- 一時的なお昼寝などには使用できますが、夜間就寝などの長時間寝かせるベッドとして使用しないでください。



●簡易ベッドとして使用するときは、お子さまをうつぶせで寝かせないでください。窒息するおそれがあります。



●収納ポジションでは使用しないでください。



●落下するなど、強い衝撃が加わり、変形、割れ、部品が破損した場合は使用しないでください。



●ベンジン、シンナー、ガソリン、磨き粉などでふいたり、殺虫剤をかけないでください。



●次のような場所では使用しないでください。

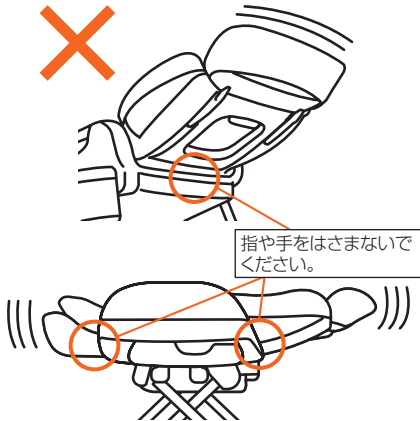
- ・ストーブや熱器具など火気の近く
- ・落下物の心配のあるところ
- ・屋外など直射日光の当たる場所
- ・浴室など湿気が多い場所や風雨にさらされる場所
- ・ほこりの多い場所
- ・強い磁気の発生する場所
- ・振動の発生する場所
- ・調理台のそばや油煙や湯気が当たる場所
- ・加湿器の近く



●高さを調節するときや、収納レバーを操作するときに脚の間に指や手をはさまないよう注意してください。

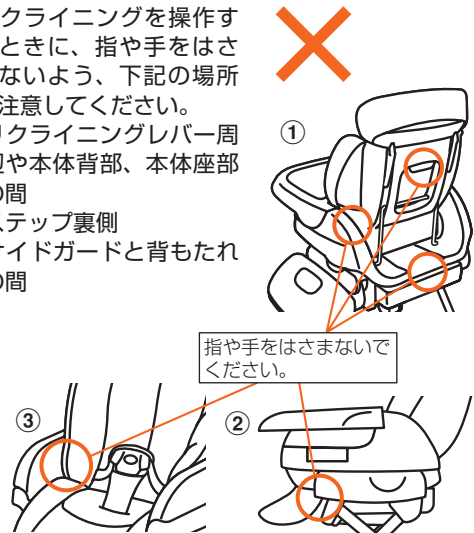


●スウィングする場合、稼働部のすき間が変化しますのですき間に指や手をはさまないよう注意してください。



●リクライニングを操作するときに、指や手をはさまないよう、下記の場所に注意してください。

- ① リクライニングレバー周辺や本体背部、本体座部の間
- ② ステップ裏側
- ③ サイドガードと背もたれの間



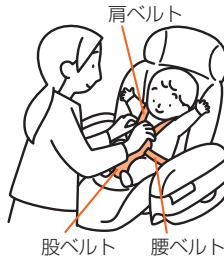
お子さまが落ちるおそれがあります。

- 股ベルト、腰ベルトは必ず使用してください。

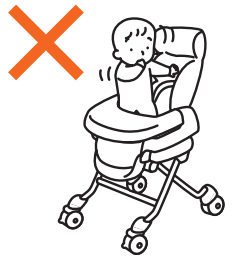
また、18ヵ月未満のお子さまには必ず肩ベルトも使用してください。

簡易ベッドとして使用するとき（新生児～5・6ヵ月）必ず肩ベルトを使用してください。

※スウィングをするときも同じです。

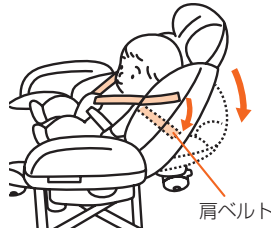


- お子さまが座面やステップに立ったり、テーブルや手すりから身を乗り出さないよう注意してください。



- 肩ベルトは、お子さまの体にあわせてきちんと調節してご使用ください。（12ページ参照）

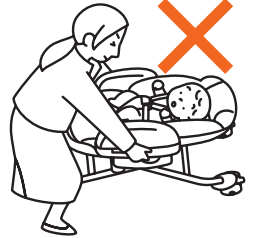
リクライニング角度を変えたときは、そのつどシートベルトを調節してください。（11ページ参照）



- お子さまが乗り降りするとき、特にお子さまがステップを踏み台にして乗り降りするときは、必ず保護者が付き添ってください。



- お子さまを乗せたまま、持ち上げて移動したり、高さ調節、収納レバーなどの操作をしないでください。また、操作は必ず保護者が行ってください。



ラックが転倒してお子さまが落ちるおそれがあります。

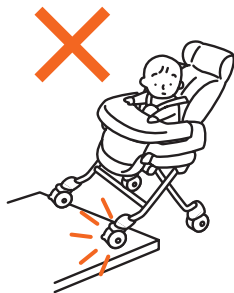
- 移動するとき以外は、キャスターロックレバーを下げ、キャスターをロックしてください。（9ページ参照）



- 1度に、2人以上のお子さまを乗せないでください。
- お子さまが乗っている場合も、乗っていない場合も、他のお子さまが手をかけたり、よじ登ることはおやめください。



- 製品は水平な床で使用してください。傾斜・階段・段差（カーペットとフローリングの段差など）のある場所、またタイルなどすべりやすい場所では使用しないでください。



- 外から力をかけると転倒のおそれがあります。特にお子さまが乗っている場合はご注意ください。

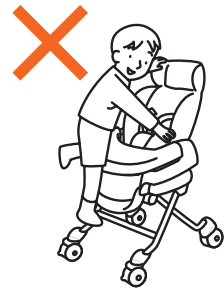
- 破損や異常が発生した場合は、必ず修理を受けてください。当社コンシューマーブラザにご連絡ください。



- 他のお子さまにラック（キャスターロックレバーなど）を操作させないでください。転倒するおそれがあります。



- 踏み台や台車、遊具のように使用しないでください。

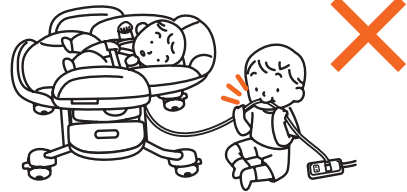


感電や漏電による事故や火災のおそれがあります。

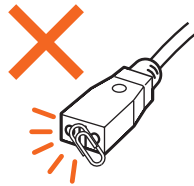
- ラックの分解、修理、改造は絶対に行わないでください。特に底面カバーは絶対に開けないでください。
- すき間から針金や金属片を差し込まないでください。感電のおそれがあります。



- お子さまが電源コードをなめたり、引っばったりしないように注意してください。また使用しないときは、電源コードをお子さまの手の届かない場所に保管してください。



- 電源コードを接続するときは、コネクタは磁石ですので金属片など異物がついていないことを確認してください。異物がついたまま接続すると、火災のおそれがあります。



- 電源プラグに付着したほこりは、定期的に乾いた布で拭き取ってください。火災のおそれがあります。



- ラックの座面に水などがかった場合は、すぐにコンセントから電源プラグを抜き、水分を拭き取ってください。またシートクッション・ベースシートを取りはずして、本体内部に水分が流れ込んでいないことを確認してください。多量の水分が流れ込んだ場合は、使用を中止して当社コンシューマプラザにお問い合わせください。



△注意 取り扱いを誤ると傷害を負ったり、ラックが破損するおそれがあります。

- リクライニングで背もたれの角度を変えた後は、必ずリクライニングロックをしてください。
- シートクッション・ベースシートは必ず取り付けて使用してください。背部や座面に穴や突起があり、お子さまが指などをケガするおそれがあります。
- 使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
- 電源コードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。

各部のなまえ

はじめに

ベースシート
(シートクッションの下側)

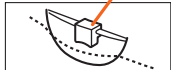
シートクッション

※シートベルト
●肩ベルト

サイドガード

サイドカバー

高さ調節ボタン



スウィングロック
レバー

※電動機種のみ

ゆればば
調節ボタン

音量調節
ボタン

スウィング
ON/OFFボタン

メロディ
ON/OFFボタン

●ブランケット
(ラグジュアのみ)

リボン

●エッグショックパッド
(ラグジュアのみ)

頭部

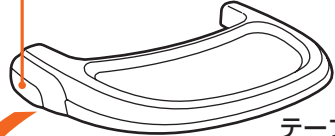
本体

●インナークッション
(ラグジュア・EXのみ)

ラダー

バックル

テーブルロックレバー



テーブル

※シートベルト
●腰ベルト
●股ベルト

股ベルトカバー

テーブル差し込み溝

ステップ

収納レバー

キャスター部

脚部

キャスター
ロックレバー

リクライニングロック

本体背部

リクライニングレバー

シリアル No.

リクライニングロッド

本体座部

コネクター差し込み口
(本体後部下側)※電動機種のみ

収納ボックス用フック

収納ボックス
(ラグジュア・EX・リシェナのみ)

●電源コード (1.8m)
※電動機種のみ

電源プラグ

コネクター

※シートベルトとは、「腰ベルト・股ベルト・肩ベルト」の総称です。

高さ調節のしかた

お部屋や利用するときの状態にあわせて、高さを5段階に調節できます。



- お子さまを乗せたまま高さ調節をしないでください。お子さまが落下するおそれがあります。
- 高さ調節は、必ず保護者が行ってください。



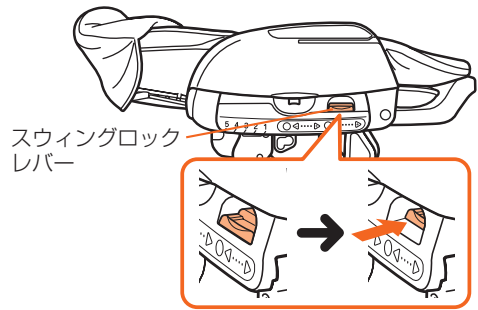
- お子さまを寝かせるときは、肩ベルトの通し穴の位置に肩をあわせて寝かせてください。
- 左右の高さ調節表示が合っているかを、必ず確認してください。高さが違うときは再度調節し直してください。思わぬ事故や故障の原因となります。
- 高さを下げるときは車輪などが前後に移動します。足元に注意してください。
- 高さ調節をするときは、必ずスウィングをロックしてから行ってください。故障の原因となります。
- 高さ調節時に、ラックの脚の間に手を入れないでください。ケガの原因となります。

1

スウィングをロックし、キャスターロックレバーが下がり、ロックされていることを確認する。

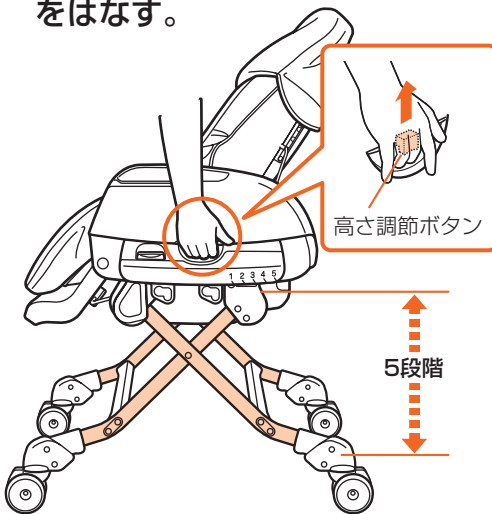


詳しくは「キャスターの使いかた」(9ページ)をご覧ください。



2

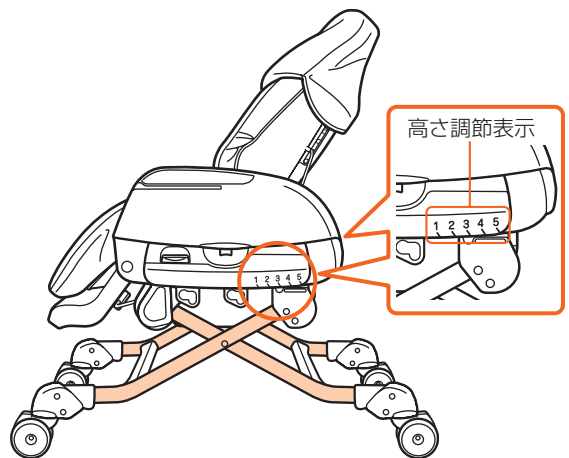
左右のサイドガード下にある高さ調節ボタンを押し、調節ボタンを押し上げたまま、本体を上下させて、利用する高さにし、高さ調節ボタンから指をはなす。



本体を持ち上げるようにすると、高さ調節ボタンが押し上げやすくなります。

3

左右の高さ調節表示が同じ位置であることを確認する。



左右の高さが違う場合は、もう一度やり直してください。

キャスターの使いかた

室内で向きを変えたり、移動するときに使用します。
移動しないときには、必ずキャスターをロックしてください。



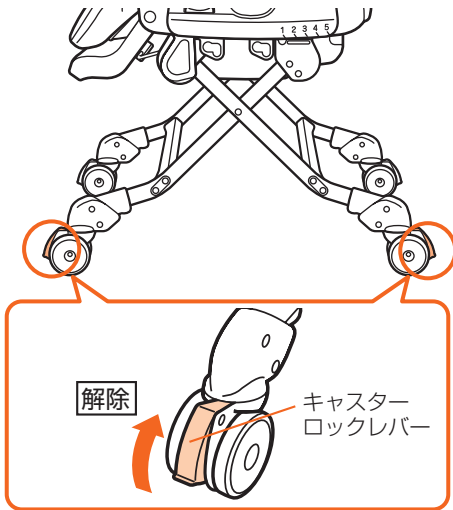
- キャスターは水平な床で製品の向きを変えたり、移動するときに使用するものです。そのため、傾斜・階段・段差のある場所では使用しないでください。
- 移動するとき以外は、必ずキャスターロックレバーを下げ、キャスターをロックしてください。ロックされていないとラックが転倒し、お子さまが落下するおそれがあります。



- ラックを移動させるときは横すべりさせないでください。床面が傷つくおそれがあります。
- ラックを移動させるときは、スウィングをロックしてください。
- スウィングするときには、必ずキャスターをロックしてください。スムーズにスウィングできず、故障の原因となります。

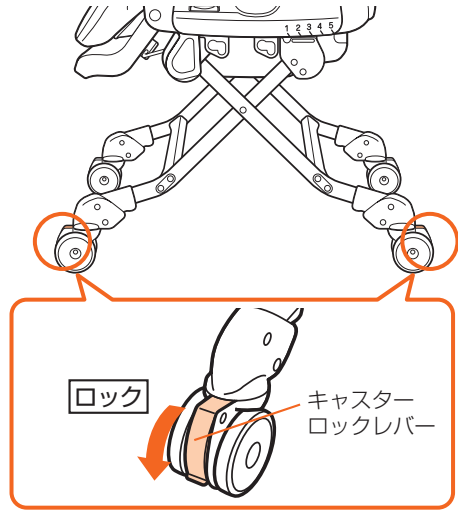
キャスターを使用する場合

キャスターロックレバーを上げ、ロックを解除する。



キャスターを使用しない場合

キャスターロックレバーを下げ、ロックする。



キャスターは、上図のように外向きにしてロックします。

シートベルト(腰ベルト・股ベルト・肩ベルト)の使いかた

シートベルトとは、腰ベルトと股ベルト、肩ベルトの総称です。

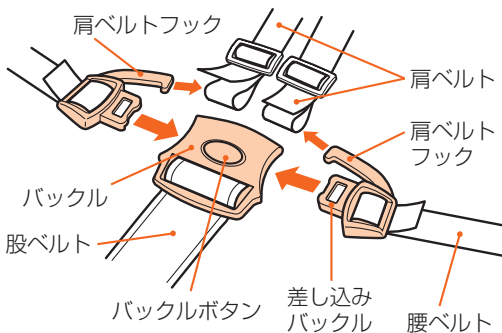
警告

- 股ベルト、腰ベルトは必ず使用してください。また、18ヵ月未満のお子さまには必ず肩ベルトも使用してください。簡易ベッドとして使用するときは（新生児～5・6ヵ月）必ず肩ベルトを使用してください。※スウィングをするときも同じです。
- シートベルトを締めずに乗せたり、締めかたが不完全ですと、使用中にお子さまが落下するおそれがあります。またシートベルトを締めていても、万一の抜け出し、立ち上がりには十分注意してください。
- お子さまを寝かせるときは、肩ベルト通し穴の位置に肩をあわせて寝かせてください。
- 左右の肩ベルトを交差させて装着しないでください。お子さまの首を圧迫するおそれがあります。

シートベルトの締めかた、はずしかた

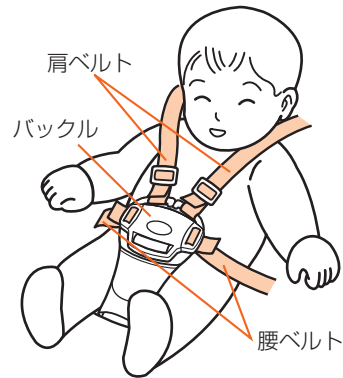
シートベルトの締めかた

1. 左右の肩ベルトに肩ベルトフックを通す。
2. バックルの左右に腰ベルトの差し込みバックルを、『カチッ』と音がするまで差し込む。
3. 肩ベルト、腰ベルトを引っ張り、はずれないことを確認する。



お子さまへの装着のしかた

1. お使いになるリクライニングの状態にする。
2. お子さまを寝かせて、足の間からバックルを引き出す。
3. 左記「シートベルトの締めかた」を参照し、図のように正しくシートベルトを締める。



シートベルトのはずしかた

バックルボタンを押す。

- お子さまが抜け出さないように、シートベルトを適切な長さに調節してください。
- 長さ調節時に腰ベルトから差し込みバックルをはずしたときは、27ページの手順5「腰ベルトに差し込みバックルを取り付ける」をご覧ください、確実に取り付けてください。
- 各シートベルトの使用については、2ページの「使いかたの目安」をご覧ください。

次ページにつづく

使いかた

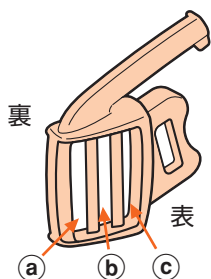
シートベルトの長さ調節



- シートベルトの長さは、お子さまの体にあわせて調節し、しっかりと締めてください。お子さまが抜け出して落下するおそれがあります。
- リクライニングで背もたれの角度を変えたときは、必ずシートベルトを調節し直してください。お子さまがすれ落ち、シートベルトが首に絡まるおそれがあります。
- 調節後は、シートベルトを引っ張り、抜けないことを確認してください。

腰ベルトの長さ調節

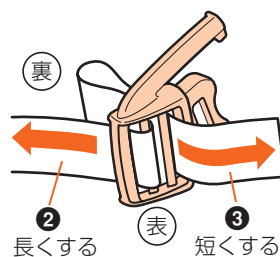
差し込みバックルのベルト通し (a)(b)(c)



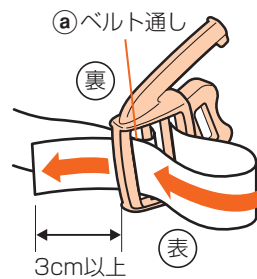
1. 腰ベルトの先端を (a) ベルト通しからはずし、**①** 調節したい分の長さを引き出す。



2. 腰ベルトを左右に引っ張り、ベルトの長さを調節する。長くするには、**②** の方向に引っ張り、短くするには、**③** の方向へベルトの先端を引っ張る。



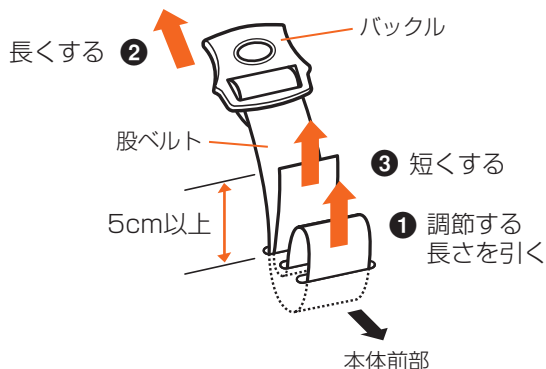
3. 腰ベルトの先端を、(a) ベルト通しに通す。



バックル表側に出ている腰ベルト先端は、3cm以上の長さを残してください。

股ベルトの長さ調節

- ベースシートの前部を本体から取りはずし、ベースシートから股ベルトを引き抜く。「シートクッションをはずす」(23ページ参照)
- ①** 調節したい分の長さを引き出す。
- 股ベルトを長くしたいときは…**②** バックルを引っ張る。
股ベルトを短くしたいときは…**③** ベルトの端を引っ張る。



バックル表側に出ている股ベルト先端は、5cm以上の長さを残してください。

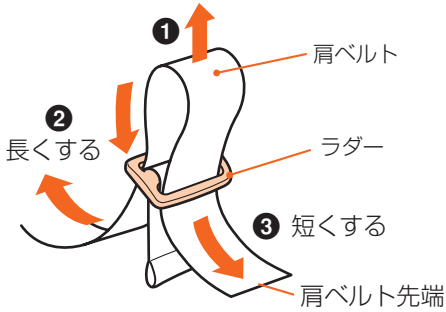


バックルは、股ベルトから取りはずすことができません。

肩ベルトの長さ調節

ラダーでの調節のしかた

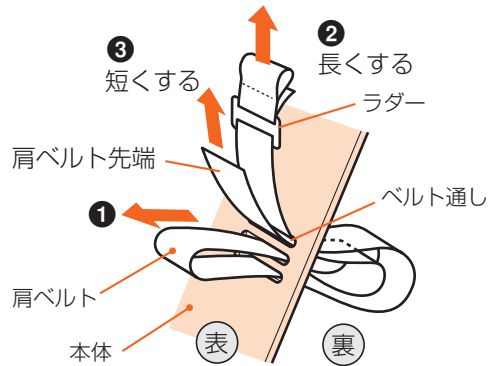
1. ① 調節したい分の長さを引き出す。
2. 長くするときには、
…② の方向に引っばる。
短くするときには、
…③ の方向に引っばる。



注意 ラダーは、肩ベルトから取りはずすことができません。

本体での調節のしかた

1. ① 調節したい分の長さを引き出す。
2. 長くするときには、
…② の方向に引っばる。
短くするときには、
…③ の方向に引っばる。

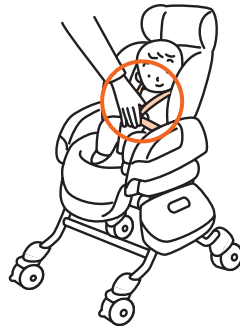


肩ベルトの取り付けかた・取りはずしかたについては、25 ページをご覧ください。

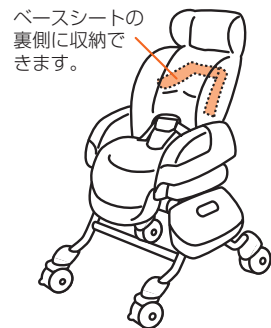
- リクライニングで背もたれの角度を変えると、シートベルトの長さが変わります。背もたれの角度を変えた後は、シートベルトの長さを必ず調節し直してください。



- ベルト調節の目安は、シートベルトとお子さまの間に大人の指が入るくらいです。



- 18 ヶ月以上のお子さまで肩ベルトを使わないときは、ベースの裏側に収納してください。



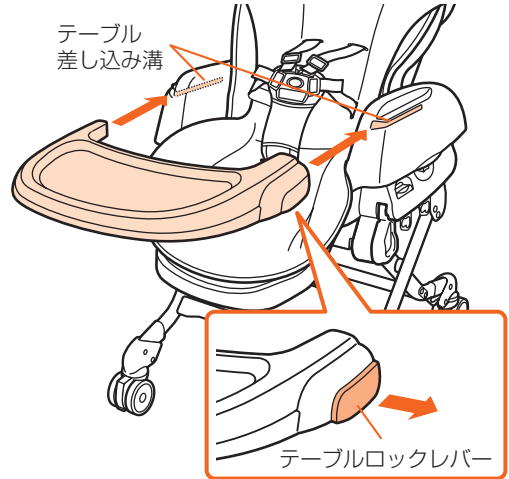
テーブルの取り付けかた

お子さまの成長にあわせて、前後方向に3段階の調節ができるテーブルです。



- 本体を持ち上げて移動するときは、テーブルを持たないでください。テーブルがはずれ、本体が落下するおそれがあります。
- テーブルでは、お子さまの抜け出しを防ぐことはできません。必ずシートベルトを使用してください。
- お子さまが本体側面の溝に指を入れると、ケガをするおそれがあります。
- テーブルの上に乗ったり、たたいたりしないでください。落下するおそれやテーブル破損の原因となります。
- テーブルはお子さまの体にフィットさせてお使いください。

1. テーブル両側のテーブルロックレバーを、外側に引っばる。
2. 本体側面のテーブル差し込み溝に、テーブルをあわせて差し込む。
3. 前後3段階からお好みの位置にあわせる。
4. テーブルを軽く前後に押して、抜けないことを確認する。



テーブルのはずしかた

テーブル両側の2カ所のテーブルロックレバーを外側に引っばり、そのまま引き抜きます。

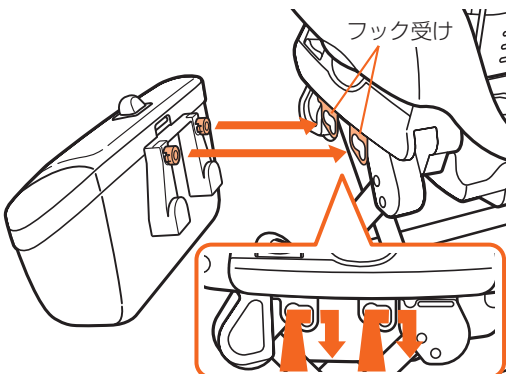
収納ボックスの取り付けかた(ラグジュア・EX・リシェナのみ)

紙おむつやおしりふきなどが入れられる収納ボックスです。



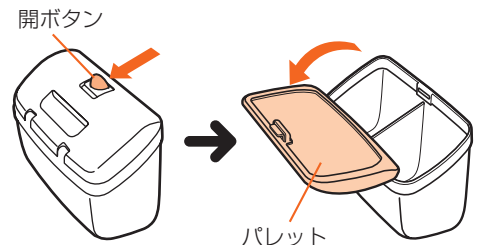
- 使用しないときは、必ずフタを閉めてください。足で踏んだりすると危険です。
- 本体を持ち上げて運ぶときは、収納ボックスをはずしてください。収納ボックスがはずれ、落下することがあります。
- 収納ボックスに体重をかけないでください。
- 合計1.5kg以上の重さのものを収納しないでください。
- パレットには合計1kg以上の重さのものを置かないでください。
- 収納ボックスは、本体が収納状態では使用しないでください。

1. 収納ボックス背面のフックを、本体側面のフック受け左側の大きい穴に差し込む。
2. 収納ボックスを右下にスライドさせて、ロックする。(下図赤枠)



収納ボックスの使いかた

1. 開ボタンを押して、フタを開く。



収納ボックスのフタの裏側が、パレットになっています。一時的に物を置くときなどにご使用ください。

リクライニングの使いかた

背もたれとステップが連動して動く、5段階のリクライニングです。

お願い 生後2～3ヵ月までの首のすわっていないお子さまは、1番寝かせた状態で使用してください。

警告

- リクライニングで背もたれの角度を変えたときは、必ずシートベルトを調節し直してください。お子さまがずれ落ち、シートベルトが首に絡まるおそれがあります。
- リクライニング操作は、必ずリクライニングレバーを持って行ってください。
- お子さまを乗せたままリクライニング操作をする場合、背もたれを倒すときは必ず肩ベルトをゆるめてから操作してください。リクライニング操作後はシートベルトを適切な長さに調節してください。

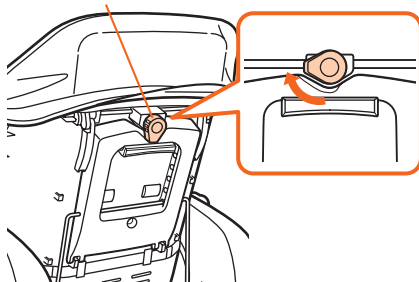
注意

- リクライニングの操作をするとき以外は、リクライニングロックでロックしてください。
- リクライニング操作で背もたれを寝かすと、連動してステップが前方向に出てきます。操作をする前に、前方に障害物のないことを確認してください。

1

背もたれの裏のリクライニングロックを回して、ロックを解除する。

リクライニングロック

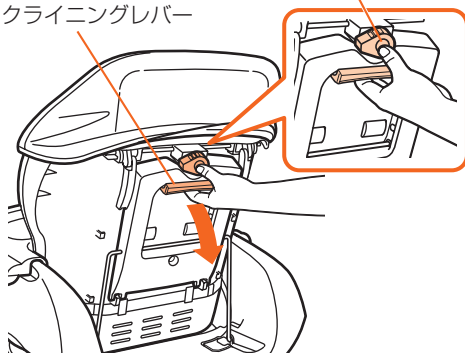


2

リクライニングロックの凹みに親指を押し当てながら、リクライニングレバーを手前に引く。

凹みを押しながら引く

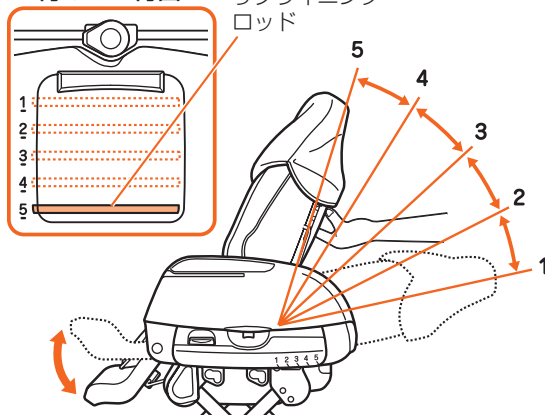
リクライニングレバー



3

背もたれを押して、使用する角度を選ぶ。

<背もたれ背面> リクライニング
ロッド

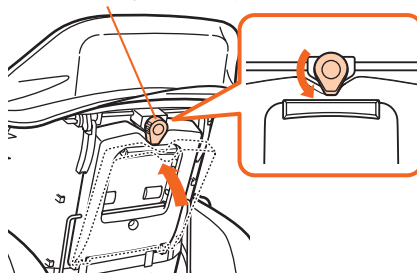


リクライニングロッドが溝に入っていることを確認してください。

4

リクライニングレバーを戻し、リクライニングロックを回してロックする。

リクライニングロック



使いかた

スウィングの使いかた

スウィングは、**電動スウィング** または **手動スウィング** の2種類があります。
スウィングするときは、必ずキャスターをロックしてください。

警告

- 必ずシートベルトを締めてください。
- 簡易ベッドとして使用するとき(2ページのリクライニング位置①と②)は、新生児～5・6ヵ月ころ(お子さまの衣服などを含めた荷重制限は2.5kg～8kg、身長70cmまで)にお使いください。
- 激しくスウィングさせないでください。
- スウィングは保護者が行い、必ず付き添ってください。また、スウィング時間の目安は15分です。それ以上のスウィングは避けてください。
- スウィングは簡易ベッドのみの機能ですので、いすのとき(2ページのリクライニング位置③④⑤)には使用しないでください。いすのときにスウィングを使用した場合、手足などをはさんだり、乗り降りするときに不安定になります。特にお子さまがふざけて使用した場合、転倒などのおそれがあります。
- お子さまがブランコのようにして遊ぶことは危険です。転倒や転落のおそれがあります。

注意

- スウィングは水平な床で使用してください。(床が水平でないと、スウィングが正常に動作しない場合があります)
- お子さまを寝かせるときは、肩ベルトの通し穴の位置に肩をあわせて寝かせてください。
- 生後2～3ヵ月で首のすわっていないお子さまを乗せてスウィングするときは、背もたれを1番寝かせた角度(2ページのリクライニング位置①)にしてください。背もたれを立たせた状態でスウィングすると、お子さまが前のめりになったり、頭がぐらついたりします。
- 授乳後30分以内のお子さまには、スウィングを使用しないでください。ミルクを吐くことがあります。
- スウィングを使用するときは、お子さまのようすをよく見ていてください。異常が見られるときは、すぐに中止してください。
- スウィングにより本体が前後方向に動くことがあります。あらかじめ障害物のないことを確認してください。
- 本体が収納状態では、スウィングさせないでください。

電動スウィング / 手動スウィング共通の操作

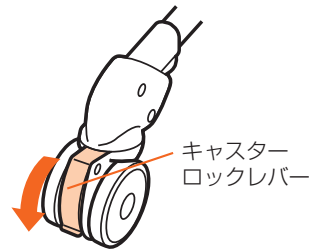
ラックは段差などのない水平な床で使用してください。

※スウィングは、水平でない床や段差がある場所では正常に動作しないことがあります。

1

キャスターロックレバーを下げ、4カ所すべてのキャスターをロックする。

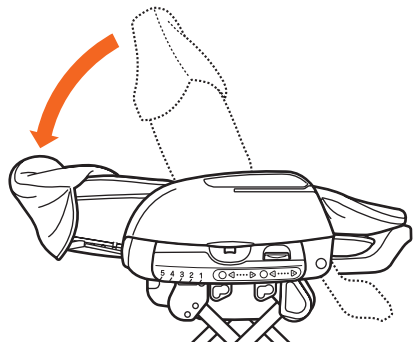
詳しくは「キャスターの使いかた」(9ページ)をご覧ください。



2

リクライニングで背もたれを寝かせた角度にする(2ページのリクライニング位置①または②)。

詳しくは「リクライニングの使いかた」(14ページ)をご覧ください。



つづく

電動スウィングは、次ページ手順3へ
手動スウィングは、19ページ手順3へ

電動スウィングの場合（電動機種のみ）

対応製品=フェアレット AUTO SWING ラグジュア/フェアレット AUTO SWING EX /フェアレット AUTO SWING

警告

- ラックの座面に水などがこぼれた場合は、すぐにコンセントから電源プラグを抜き、水分を拭き取ってください。またクッションを取りはずして、本体内部に水分が流れ込んでいないことを確認してください。多量の水分が流れ込んだ場合は、使用を中止して当社コンシューマプラザにお問い合わせください。
- お子さまが電源コードをなめたり、引っぱったりしないように注意してください。また使用しないときは、電源コードをお子さまの手の届かない場所に保管してください。
- 電源コードを接続するときは、コネクターや電源プラグに異物がついていないことを確認してください。異物がついたまま接続すると、火災のおそれがあります。
- 電源プラグに付着したほこりは、定期的に乾いた布で拭き取ってください。火災のおそれがあります。

注意

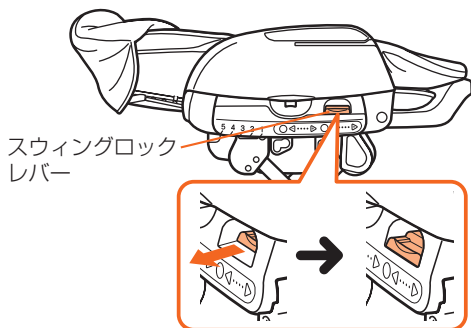
- スウィングは水平な床で使用してください。電動スウィングが停止したりスムーズに動作しない場合は、段差のない水平な床に移動して使用するか、またはスウィングレベルを2以上でお使いください。
- お子さまが乗っていない状態で電動スウィングを使用しないでください。
- 使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
- 電源コードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
- 次のとき、本体内部が結露し誤作動の原因となりますので、ご注意ください。
 - 本機を寒いところから暖かい部屋に移動したとき
 - 部屋を急激に暖房したとき
 - エアコンなどの冷風が直接当たるところ
 - 湿気の多いところ
 - 加湿器の近く
 ※詳しくは、「故障かなと思う前に」（29ページ）をご覧ください。
- 長時間、連続使用したときには、座面や底面カバーがあたたまる場合がありますが、使用上問題ありません。
- 底面カバー付近から臭いがすることがありますが、有害なものではありません。
- 電動スウィング中は手で揺らさないでください。誤作動を起こし、異常なスウィングをする場合があります。
- 本製品に付属の電源コードは、フェアレット AUTO SWING 専用です。他の電器製品に使用しないでください。

使いかた（電動機種のみ）

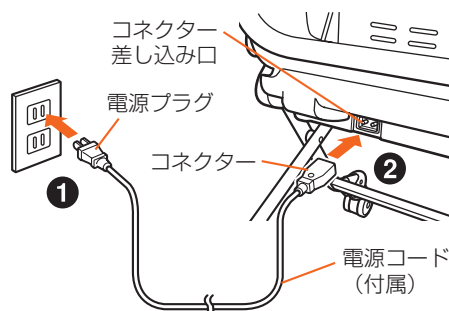
3 お子さまを寝かせて、シートベルトを装着する。

- お子さまを寝かせるときは、肩ベルト通し穴の位置に肩をあわせ、座面中央に寝かせてください。
- 詳しくは、「シートベルトの使いかた」（10ページ）をご覧ください。

4 サイドガード下のスウィングロックレバーを引き出して、ロックを解除する。



5 ① 電源コード（付属）の電源プラグをコンセントに差し込み、② コネクターを本体後部のコネクター差し込み口にセットする。



電源が入り、ゆれはばレベルランプと音量レベルランプが、前回使用時の状態で点灯します。
※次ページの手順6のイラストを参照してください。

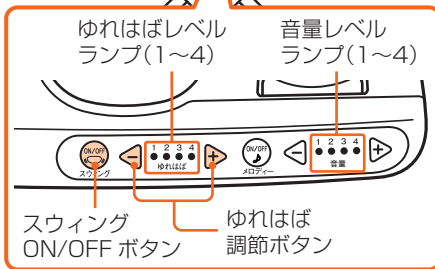
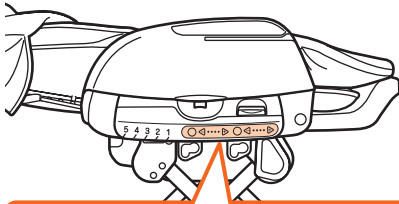
次ページにつづく

スウィングの使いかた

6

ゆれはば調節ボタンで、ゆれはばレベルを決め、スウィング ON/OFF ボタンを押す。

ゆれはばレベルランプが点滅し、電動スウィングがスタンバイ状態になります。



7

最初に手で揺らして反動をつける。

電動スウィングが始まります。

※最初に手で反動をつけないと、電動スウィングは開始しません。

- 約 15 分後に自動的に電動スウィングは止まります。
- メロディを電動スウィングと同時に使用している場合は、電動スウィングの自動停止にあわせてメロディも自動停止します。

電動スウィングを途中で止めるには

電動スウィングを途中で止めたい場合は、スウィング ON/OFF ボタンを押します。

ゆれはばレベルランプが、点滅から点灯に変わります。



電動スウィングの調節について詳しくは、18 ページをご覧ください。



●スウィングを使用しないときには

ゆれはばレベルランプが点灯している状態で、スウィングロックを押し込み、スウィングをロックしてください。



加湿器の近くでは使わないでください。

加湿器に入っている水によっては、カルシウムを成分とする白い粉が本体の光学センサーに付着して正常に動作しなくなることがあります。

オートスウィングの揺れについて

本製品はスウィングの動力に、静粛性に優れた磁力を使用しています。そのためスウィング中に、揺れの早さが変化し、お子さまの身体を多少揺らす場合があります。これは磁力の特性からおこる現象で、本製品の不都合などではありません。

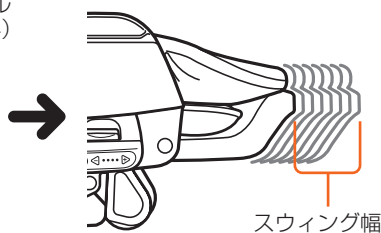
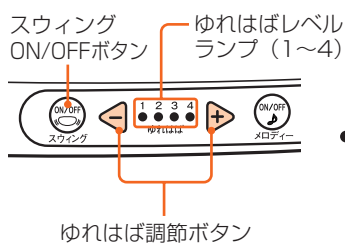
また、お子さまの健康などに影響を与えるものではありませんので、安心してお使いください。

スウィングの調節について

お子さまのようすを見ながら、スウィングの強弱を調節してください。また、スウィングと同時にメロディを使用する場合は、「メロディの使いかた」(20 ページ) をご覧ください。

スウィングの大きさを変えるには

ゆれはば調節ボタンを押して、スウィングのレベル (1 ~ 4) を選びます。(下表を参照してください)



※スウィング中にスウィングの大きさを変えることもできます。

大きさ	スウィング幅
レベル 1	小
レベル 2	↑
レベル 3	↓
レベル 4	大

お願い

※柔らかい床面や段差がある床面で使用すると、スウィングが正常に動作しないことがあります。フローリングなど、硬い平らな床面で使用してください。

- スウィングを正常に動作させるために、製品が傾いた状態 (段差がある場所など) での使用はおやめください。
- ゆれはばが小さくなりすぎて、スムーズにスウィングしない場合があります。ゆれはばレベルを 1 つ上げて使用してください。
- ゆれはばが大きくなりすぎて、内部ストッパーに当たる場合があります。ゆれはばレベルを 1 つ下げて使用してください。

手動スウィングの場合

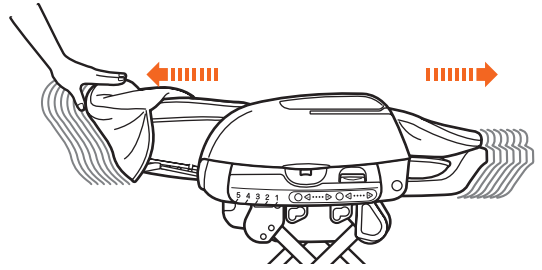
対応製品=フェアレット AUTO SWING ラグジュア / フェアレット AUTO SWING EX / フェアレット AUTO SWING / リシェナ

手順 1 ~ 2 は、15 ページを参照してください。

3 お子さまを寝かせて、シートベルトを装着する。

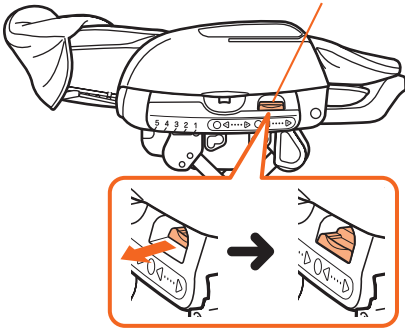
お子さまを寝かせるときは、肩ベルト通し穴の位置に肩をあわせ、座面中央に寝かせてください。

5 手で、背もたれをゆっくり押し、スウィングさせる。



4 サイドガード下のスウィングロックレバーを引き出して、ロックを解除する。

スウィングロックレバー



●スウィングを使用しないときにはスウィングロックレバーを押し込み、スウィングをロックしてください。

メロディの使いかた

対応製品=フェアレット AUTO SWING ラグジュア/フェアレット AUTO SWING EX /フェアレット AUTO SWING

7曲のメロディが用意されています。メロディだけで使用することも、スウィングと一緒に使用することもできます。

1

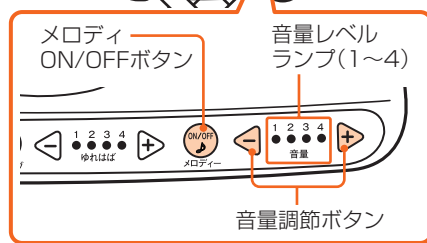
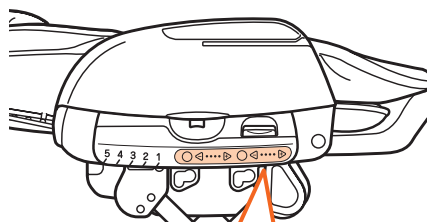
- ① 電源コード（付属）の電源プラグをコンセントに差し込み、
- ② コネクターを本体後部のコネクター差し込み口にセットする。（詳しくは、16 ページの手順 5 をご覧ください）

2

音量調節ボタンで、音量レベルをお好みの状態にセットして、メロディ ON/OFF ボタンを押す。

ランプが点灯から点滅に変わり、メロディが始まります。音量を確認して、適切な音量レベル(1～4)に調節してください。

※小さい音量レベルから始めることをおすすめします。



曲目

1. ノクターン
2. ワルツ
3. シューベルトの子守唄
4. ブラムスの子守唄
5. 星の世界
6. ゆりかごの歌
7. 大きな古時計

※曲の途中でメロディを止めて、再度メロディを開始した場合は、次の曲からスタートします。ただし、電源プラグを抜いた場合は、1 曲目からスタートします。

メロディを途中で止めるには

メロディを途中で止めたい場合は、メロディ ON/OFF ボタンを押します。

音量レベルランプが、点滅から点灯に変わります。

- メロディの音量は、演奏中でも調節することができます。
- 約 15 分後に自動的にメロディは終了します。
- 電動スウィングと同時に使用している場合は、電動スウィングの自動停止にあわせてメロディも自動停止します。

使いかた (電動機種のみ)

収納レバーの使いかた

箱に収納するとき、コンパクトなサイズにできます。



- お子さまを乗せたまま、収納レバーを操作しないでください。お子さまが落下するおそれがあります。
- 収納レバーの操作は、必ず保護者が行ってください。



- 収納レバーを操作するときは、必ず収納ボックスを取りはずしてください。
- 収納状態では、使用しないでください。
- 収納レバーを操作してラックの高さを下げるとき、ラック本体と床面との間に足や指などはさむおそれがあります。また車輪などが前後に移動しますので、足元にも注意してください。
- 収納した状態で移動しないでください。床面が傷つくおそれがあります。
- 収納するとき以外は、収納レバーを使わないでください。

1

1. リクライニングで背もたれの角度を1番寝かせた状態にする。

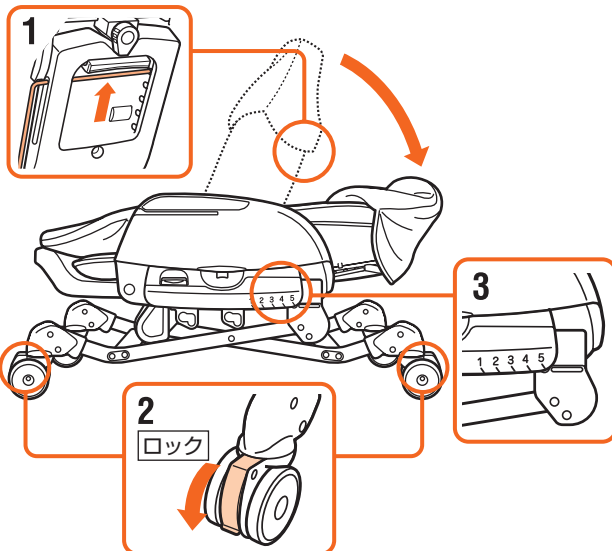
詳しくは「リクライニングの使いかた」(14ページ)をご覧ください。

2. キャスターをロックする。

詳しくは「キャスターの使いかた」(9ページ)をご覧ください。

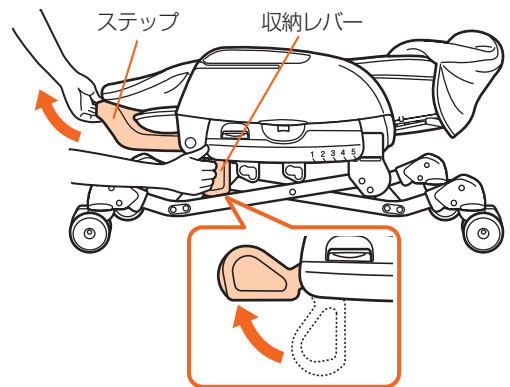
3. 本体の高さを1番下の位置にする。

詳しくは「高さ調節のしかた」(8ページ)をご覧ください。



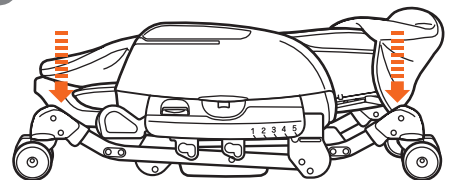
2

2. ステップを片手で持ち上げながら、収納レバーを片側ずつ、図のように、手前方向に回して解除する。



3

3. そのままゆっくりと下げる。



収納状態

- 再度、ラックを使用するときは、左右のサイドガード下にある高さ調節ボタンを押し、そのまま本体を持ち上げて、利用する高さにしてください。
- 詳しくは「高さ調節のしかた」(8ページ)をご覧ください。

インナークッションの使いかた (ラグジュア・EXのみ)

インナークッションは、低月齢（新生児～5・6ヵ月）のお子さまが対象です。

※インナークッションからお子さまの頭が出るようになったら、インナークッションをはずしてお使いください。

新生児～2・3ヵ月

●リクライニングの角度は、①で使用します。

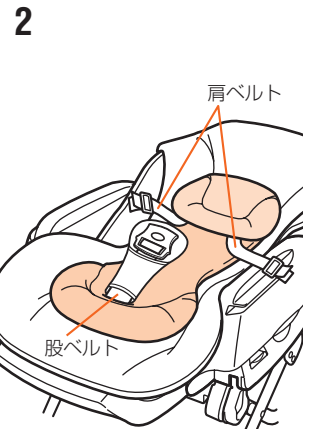
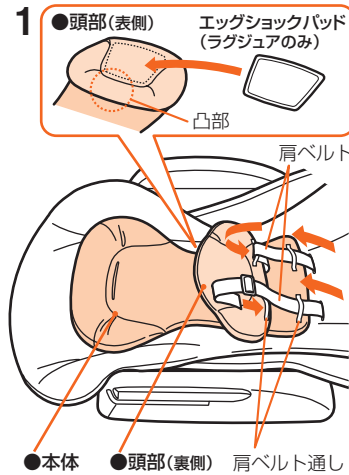
1. インナークッションの頭部と本体を肩ベルトでつなぎます。

先に本体の肩ベルト通しに肩ベルトを通してから、頭部裏側の肩ベルト通しに通します。

2. 股ベルトを通し、インナークッションを取り付けます。

取り付け後、頭部の凸部がお子さまの首の後ろになるように調節してください。

※インナークッションは、ベルトの位置にあわせて取り付けてください。



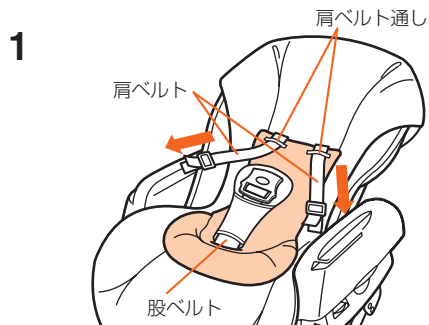
2・3ヵ月～5・6ヵ月

●この月齢では、インナークッション本体のみを使用します。

●リクライニングの角度は、①②③で使用します。

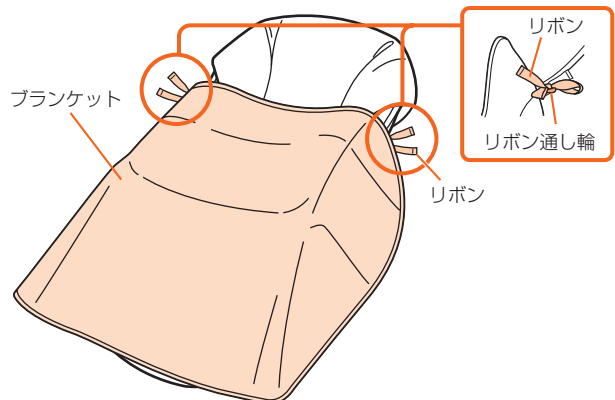
1. 股ベルト、肩ベルトを通し、インナークッションを取り付けます。

※インナークッションは、ベルトの位置にあわせて取り付けてください。



ブランケットの使いかた (ラグジュアのみ)

●ブランケットについているリボンを、ベースシート両側のリボン通し輪に通し、結んで固定することができます。



シートクッション、ベースシート、シートベルトのはずしかた・取り付けかた

警告

- シートクッションやベースシートを取りはずしたまま、お子さまを乗せないでください。すき間に手や足をはさむおそれがあります。
- シートベルトの取り付けかたが不完全ですと、使用中にシートベルトが抜けるおそれがあります。確実に取り付けられていることを確認してから、使用してください。
- 間違った取り付けかたをすると、使用中お子さまが落下するおそれがあります。
- ベルトを取り付けた後は、それぞれのベルトの端部を引っ張り、抜けないことを確認してください。
- お子さまは思わぬ動作をしますので、シートベルトをしめていても立ち上がるおそれがあります。目をはなさず十分注意してください。



はずしかた

1

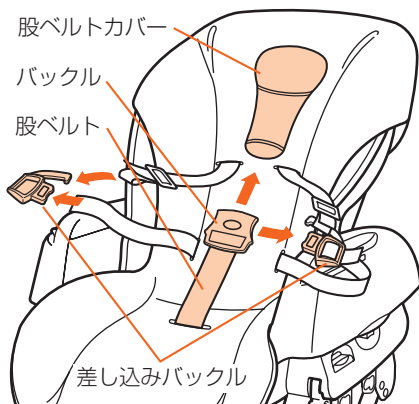
リクライニングで背もたれを1番立てた状態にして、バックルボタンを押して、肩ベルトをはずす。



詳しくは「リクライニングの使いかた」(14ページ)をご覧ください。

2

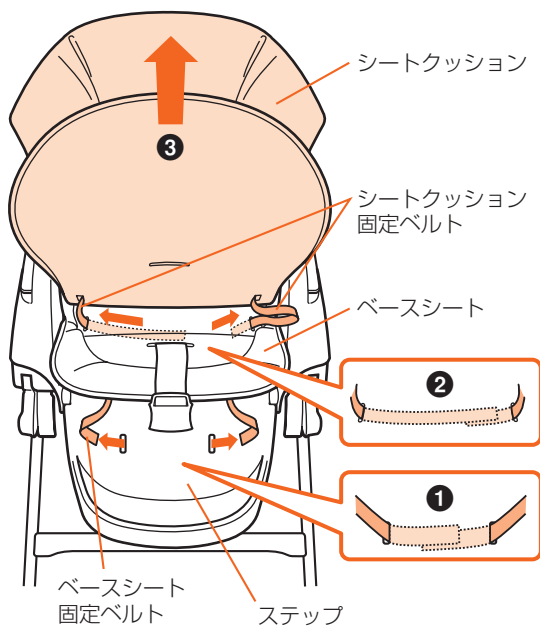
腰ベルトから差し込みバックルをはずし、股ベルトから股ベルトカバーをはずす。



3

シートクッションをはずす。

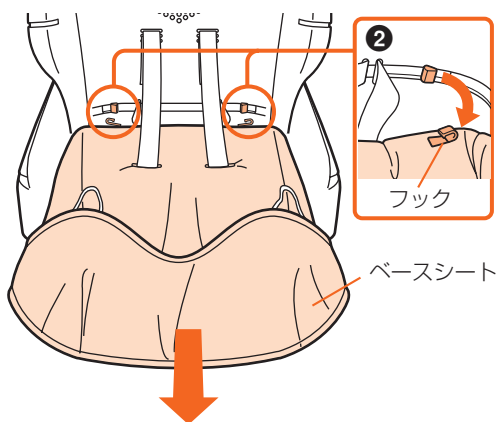
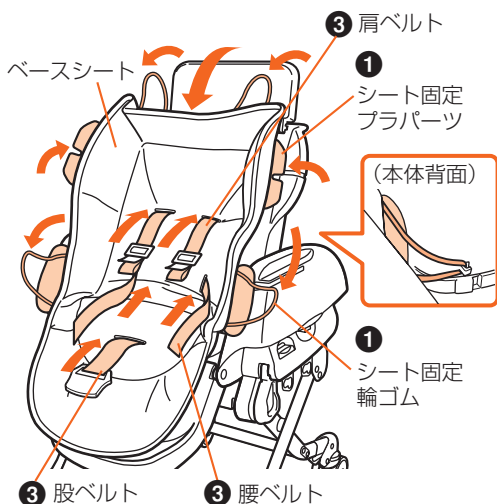
- ① ステップ裏側のベースシート固定ベルトをはずし、引き抜く。
- ② ベースシート裏側のシートクッション固定ベルトをはずして、シートクッションをベースシートから引き抜く。
- ③ シートベルト(肩ベルト、腰ベルト、股ベルト)を引き抜き、ベースシートからシートクッションを取りはずす。



4

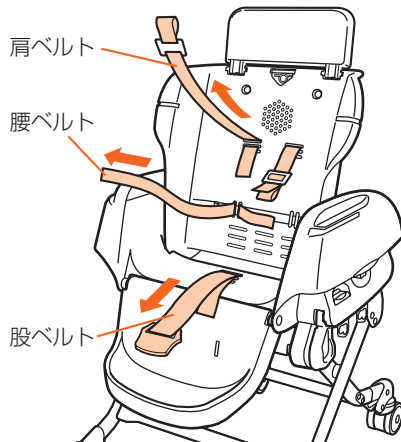
ベースシートをはずす。

- ① ベースシート固定ブラパーツ (4カ所) とベースシート固定輪ゴム (4カ所) をはずす。
- ② ベースシートのフック (2カ所) を本体からはずす。
- ③ シートベルト (肩ベルト、腰ベルト、股ベルト) をベースシートから引き抜き、本体から取りはずす。



5

肩ベルト、腰ベルト、股ベルトを本体からはずす。



お願い

本製品のベースシートは、撥水加工を施してありますので、飲食時のいすとして使用される場合、ベースシートのみ取り付けて使用されることをおすすめします。ただし、汚れがつかないわけではありません。また、洗濯を繰り返すと、撥水効果は薄れてきますのでご注意ください。

その他



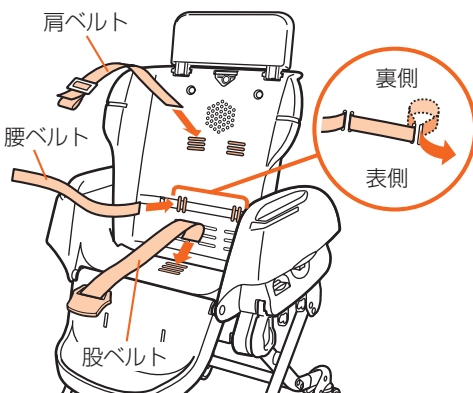
詳しくは「シートベルトの長さ調節」(11ページ)をご覧ください。

取り付けかた

- 1 リクライニングで背もたれを1番立てた状態にする。

詳しくは「リクライニングの使いかた」(14ページ)をご覧ください。

- 2 腰ベルト、肩ベルト、股ベルトを本体に取り付ける。

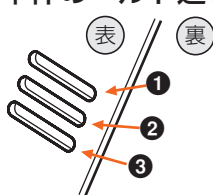


腰ベルトの取り付けかた

- 腰ベルトは、○で囲んだ図のように片方のベルト通しから本体裏側に通し、いったん表側に引き出して、もう片方のベルト通しを同様に通す。
- 腰ベルトの長さを調節して、左右同じ長さにする。

肩ベルト、股ベルトの取り付けかた

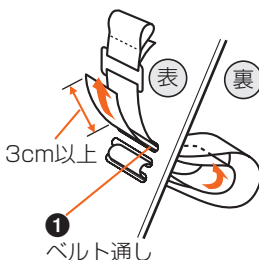
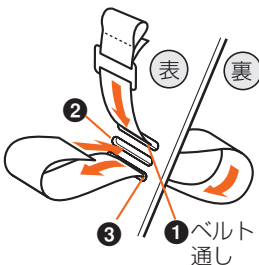
本体のベルト通し



※肩ベルトの表裏を確認してください。縫い目の折り返しがある面が裏です。先端の折り込まれている面に注意して、取り付けてください。

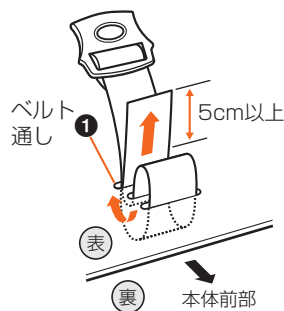
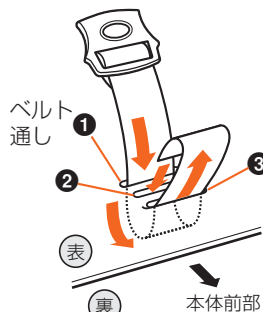
●肩ベルトの取り付けかた

- 本体表側から、肩ベルトの先端を①ベルト通しに通して裏側に入れる。ベルト先端を③ベルト通しから表側に出し、②ベルト通しに通して裏側に入れる。
- ベルト先端を①ベルト通しから表側に戻す。
- 左右の肩ベルトの長さを調節して、同じ長さにする。



●股ベルトの取り付けかた

- 本体表側から、股ベルトの先端を①ベルト通しに通して裏側に入れる。ベルト先端を③ベルト通しから表側に出し、②ベルト通しに通して裏側に入れる。
- ベルト先端を①ベルト通しから表側に戻す。

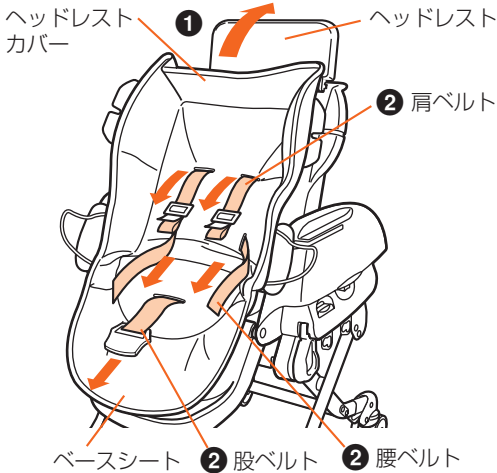


詳しくは「シートベルトの長さ調節」(11、12ページ)をご覧ください。

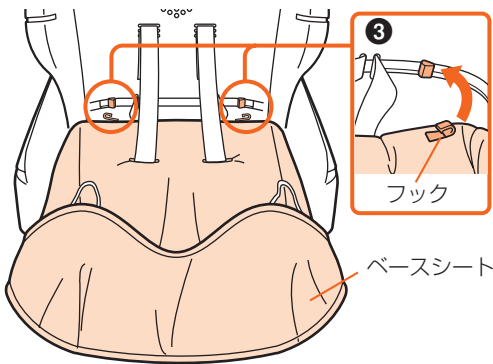
3

ベースシートを取り付ける。

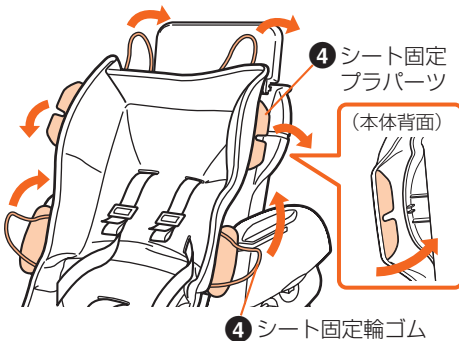
- ① ベースシートのヘッドレストカバーを本体のヘッドレストにかぶせる。
- ② シートベルト(肩ベルト、腰ベルト、股ベルト)をベースシートの表側に引き出す。



- ③ ベースシートのフック(2カ所)を本体に引っかける。



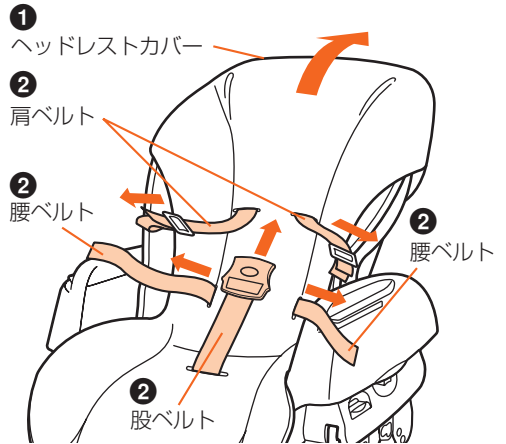
- ④ ベースシート固定プラパーツ(4カ所)とベースシート固定輪ゴム(4カ所)を本体に取り付ける。



4

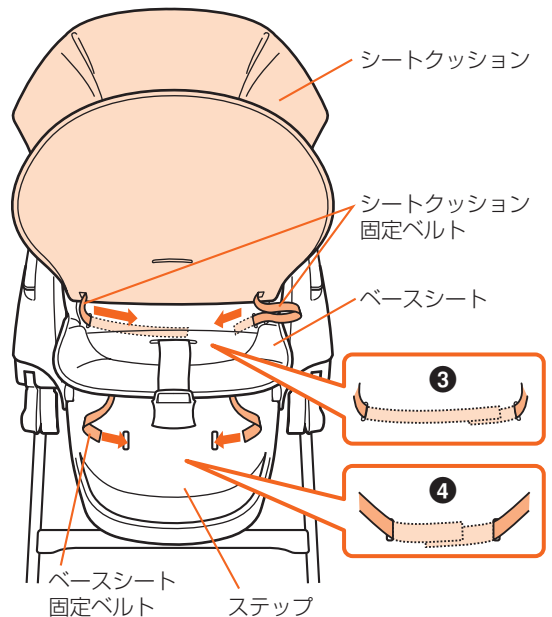
シートクッションを取り付ける。

- ① シートクッションのヘッドレストカバーを本体のヘッドレストにかぶせる。
- ② シートベルト(肩ベルト、腰ベルト、股ベルト)をシートクッションの表側に引き出す。



- ③ シートクッションの固定ベルトをベースシートの裏側に通し、面ファスナーでとめる。

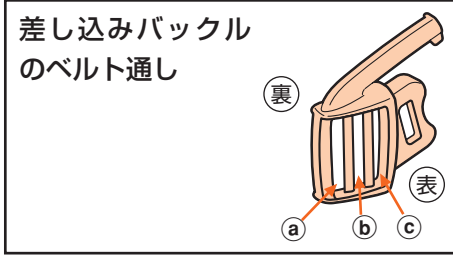
- ④ ベースシート固定ベルトをステップ裏側に通し、面ファスナーでとめ、ベースシートを本体に取り付ける。



5

腰ベルトに差し込みバックルを取り付ける。

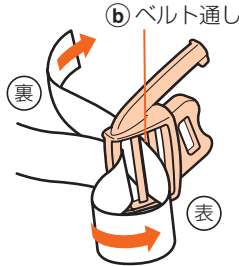
差し込みバックルのベルト通し



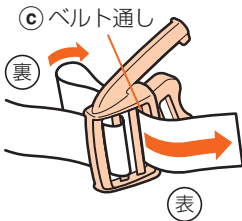
1.バックル裏側から、腰ベルトを①ベルト通しを通して、表側へ引き出す。



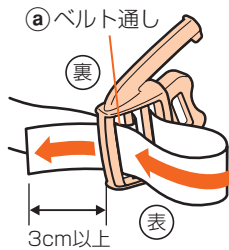
2.バックル表側から、ベルト先端を②ベルト通しを通して、裏側へ入れる。



3.バックル裏側から、ベルト先端を③ベルト通しを通して、表側へ引き出す。



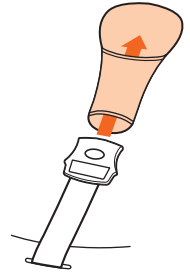
4.ベルト先端を④ベルト通しを通して、裏側へ入れる。



腰ベルトの長さは、ベルトの端が3cm以上残るように調節してください。

6

股ベルトに股ベルトカバーを取り付ける。



7

左右の肩ベルトを差し込みバックルの肩ベルトフックにかけ、差し込みバックルをバックルに差し込む。

ベルトの名称は、「シートベルト（腰ベルト・股ベルト・肩ベルト）の使いかた」（11ページ）をご覧ください。

スウィングラック Q&A

スウィングラックを正しく効果的にご使用いただき、お子さまとの楽しいひとときにお役立てください。

Q1 ハイ&ロースウィングラックは生後何ヵ月から使用できますか？

新生児から使用できます。
ただし、お子さまの首がすわるまでの2～3ヵ月までは、背もたれを1番寝かせた角度で使用してください。

Q3 1日にどれくらい、使用しても大丈夫ですか？

お子さまを座らせておく時間は、1回30分から1時間くらいが適当です。お子さまが機嫌よくひとり遊びしていただける時間が目安になります。
お子さまには、やはりお母さまの抱っこが1番です。ラックに長時間いることはよくありません。
1日の使用時間は合計3～4時間が望ましいでしょう。スウィングしながらお子さまが眠った場合は、すぐにベッドやふとんに移すと目をさますことがありますので、よく寝ついてから移してあげてください。

Q2 スウィングの時間は何分ぐらいが適当ですか？

お子さまが機嫌よく、快い表情でいられるかを目安にしてください。
気持ちよさそうに眠り始めたときはすぐに止めないで、しばらくスウィングを続けてあげたほうがよいでしょう。
10～15分くらいを目安に考えてください。

Q4 スウィングさせるときの最適な揺らしかたはありますか？

背もたれを「スウィングの位置」にしてお子さまを寝かせ、ようすを見ながらやさしくスウィングしてあげることが最適といえるでしょう。
お子さまが眠ったときは、徐々に揺らしかたを小さくしてあげるようにしてください。

日常のお手入れのしかた

本体のお手入れ

注意

- 中性洗剤原液でのお手入れや、ガソリン、ベンジンなど有機溶剤でのお手入れはしないでください。本体を傷めるおそれがあります。
- お手入れの際に取りはずした部品は、本書をよくお読みの上、正しく取り付けてください。

- 本体やテーブルが汚れたときは、薄めた中性洗剤またはぬるま湯を柔らかい布に含ませて、ふいてください。
- 車輪は、ほこりなどが付着すると滑りやすくなります。薄めた中性洗剤を柔らかい布に含ませて、ふいてください。

シートクッション、ベースシート、インナークッション(ラグジュア・EXのみ)、エッグショックパッド(ラグジュアのみ)、股ベルト、股ベルトカバー、肩ベルト、腰ベルト、ブランケット(ラグジュアのみ)のお手入れ



液温は30℃を上限として手洗いしてください。



漂白剤は使用しないでください。



アイロン掛けはしないでください。



ドライクリーニングはしないでください。



強く絞ると、シワが残ることがあります。



日陰で平干ししてください。

- クッション、ベースシートは取りはずして、左記の洗濯表示に従い洗濯してください。
 - 股ベルトは、バックルを付けたまま洗ってください。
 - 肩ベルトは、ラダーを付けたまま洗ってください。(ラダーを肩ベルトからはずさないでください)
 - 面ファスナーは、閉じて洗ってください。
 - 製品の特性上、多少色あせすることがあります。
 - 漂白剤、蛍光剤入りの洗剤は使用しないでください。
 - 洗濯機、脱水機、乾燥機の使用はしないでください。バックルなどの破損につながるおそれがあります。
 - 洗濯の際は、他の衣料品と区別されることをおすすめします。
 - すずぎは充分に行ってください。
 - 快適に使用していただくため、こまめに洗濯することをおすすめします。
- ※ 共通洗い替えクッションは、ご利用いただけません。専用の洗い替えクッションをご利用ください。
- エッグショックパッドについて (ラグジュアのみ)**
- エッグショックパッドは洗濯できません。
 - インナークッションの頭部を洗濯するときは、必ずエッグショックパッドを取りはずしてください。

故障かなと思う前に

こんなときは	調べるところと直しかた	参照ページ
電動スウィングし ない	<ul style="list-style-type: none"> ● ゆれはばレベルランプが点灯していますか？ → 点灯していない場合は、電源プラグとコネクターの接続を確認してください。 ● ゆれはばレベルランプが点滅していますか？ → ゆれはばレベルランプが点灯のままで点滅しない場合は、もう1度スウィング ON/OFF ボタンを押し直してください。 ● 手で反動をつけましたか？ → 最初に手で本体に反動をつけないと、スウィングは開始しません。 また、反動が小さすぎてもスウィングは開始しません。もう1度反動を少し大きめにやり直してください。 	15～18
スウィングの動き がスムーズでない	<ul style="list-style-type: none"> ● ラックを水平な床に置いていますか？ → 段差のない水平な床に移動して使用してください。電動スウィングの場合は、スウィングレベルを2以上でご使用ください。 	15～18
スウィング中に座 面が浮き上がる	<ul style="list-style-type: none"> ● お子さまを肩ベルトの位置にあわせて寝かせていますか？ → お子さまの肩を肩ベルトの位置にあわせ、座面中央の適切な位置に寝かせてください。 	16
メロディの音が出 ない	<ul style="list-style-type: none"> ● 音量レベルランプが点灯していますか？ → 点灯していない場合は、電源プラグとコネクターの接続を確認してください。 ● 音量レベルランプが点滅していますか？ → 音量レベルランプが点灯のままで点滅しない場合は、もう1度メロディ ON/OFF ボタンを押し直してください。 	20
電動スウィング中、 本体座部が前後の ストッパーに「ガ ツン」と当たる	<ul style="list-style-type: none"> ● スウィング幅が大きくなりすぎて、内部ストッパーに当たる場合があります。 → スウィングレベルを1つ下げてください。 ● 本体内部が結露したため、センサーが動きを感知できず、内部ストッパーに当たる場合があります。 → 使用する部屋に2～3時間程度放置してから、電源ボタンを押し、電源ランプの点灯を確認してください。次に本体を手で揺らし、スウィングをスタートさせてください。 	18 16、17
電源コードのコネク ターが抜けやすい	<ul style="list-style-type: none"> ● 磁石なので、金属片などの異物が付着している場合があります。 → コネクタにゴミの付着がないか、ご確認ください。 	16

修理、サービスをお申し付けになる前に、上記の点をお調べください。

点検後なお異常がある場合は、ご自分で修理なさらないで当社コンシューマープラザまでご連絡ください。
連絡先は、次ページの「点検とアフターサービスについて」をご覧ください。

製品仕様

定格電圧.....AC100V

定格消費電力.....19W

定格周波数.....50/60Hz

保管のしかた



火の近くなど、高温になる場所での保管は避けてください。また荷物を重ねたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。

- 直射日光を避け、湿気が少なく、雨やほこりがかからない場所に保管してください。

点検とアフターサービスについて

- ネジ類のゆるみ、部品の欠損および作動不良などの異常がないか適時点検してください。
- 危険ですから、むやみに改造や分解はしないでください。
- 本製品の修理 / 部品販売の際は、まったく同じ部品がない場合があり、色や仕様が若干異なることがありますので、あらかじめご了承ください。製品使用上は差しつかえありません。

コンシューマープラザ

(Customer Service Center)

〒 339-0025 埼玉県さいたま市岩槻区釣上新田 271

TEL. (048) 797-1000

FAX. (048) 798-6109

コンシューマープラザ

(Customer Service Center) / 西日本担当

〒 540-0026 大阪府大阪市中央区内本町 2-4-16

オフィスポート内本町 9 階

TEL. (06) 6942-0379

FAX. (06) 6942-0302

廃棄方法について

- お住まいの各自治体の指示に従い、処分・廃棄してください。
- 地球環境のため、放置はしないでください。

SG マークの被害者救済制度

SG マークが表示されたスウィングラックを、消費者の皆さまが正常に使用していたとき、製品の欠陥により万一事故が発生し、お子さまが損害を被った場合は、「(財)製品安全協会」がその損害を賠償いたします。

ただし、お買い上げ日より 4 年以内です。

●賠償についてのご注意

- 認定したスウィングラックそのものが故障したとしても、その品質について保証するというものではありません。あくまでも傷害などの身体的な損害について賠償する制度です。
- 賠償金は (財) 製品安全協会がそれぞれ実情をよく調査して、実損を補填する妥当な額をお支払いすることになります。

●賠償金の請求について

損害を被った消費者（お子さまなどの場合は保護者でもよい）が賠償金を請求するときは、別欄の項目を事故が発生した日から 60 日以内に下記の協会または、協会が指定するところに届けてください。

(財)製品安全協会 東京都台東区竜泉 2 丁目 20 番 2 号
ミサワホームズ三ノ輪 2 階
TEL. (03) 5808-3300

●事故賠償に必要な項目

- ① 事故の原因となったスウィングラックの現品
イ) 製品の名称、SG 番号 ロ) 製品の購入先、購入年月日
- ② 事故発生の状況
イ) 事故発生年月日 ロ) 事故発生場所 ハ) 事故発生状況
- ③ 被害の状況
イ) 被害者の氏名、年齢、性別、職業、住所
ロ) 被害の状況と程度 (医師の証明書)

Web上にコンビの育児サイトを開設しています

コンビの製品&育児情報サイト・コンビタウン
<http://www.combibaby.com>

コンビ株式会社

商品に関するお問い合わせ、部品購入、修理などのご相談は、コンシューマープラザにて対応いたします。

コンシューマープラザ (Customer Service Center)

受付時間：10：00～17：00（日祝日、年末年始を除く）

〒339-0025 埼玉県さいたま市岩槻区釣上新田271 TEL. (048) 797-1000 FAX. (048) 798-6109

部品販売(相談)窓口 / 部品購入のお問い合わせとご注文 TEL. (048) 797-1001 FAX. (048) 798-6109

コンシューマープラザ (Customer Service Center) / 西日本担当

受付時間：10：00～17：00（土日祝日、年末年始を除く）

〒540-0026 大阪府大阪市中央区内本町2-4-16 TEL. (06) 6942-0379 FAX. (06) 6942-0302

* ホームページのご案内 <http://www.combi.co.jp/cp/>

128576180

